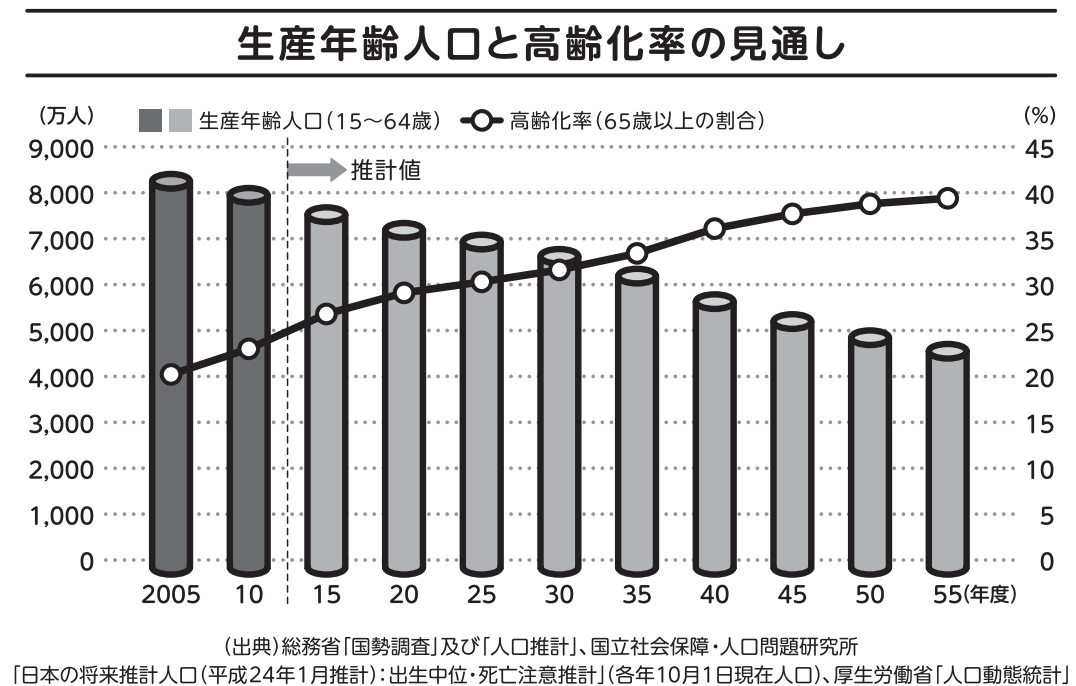
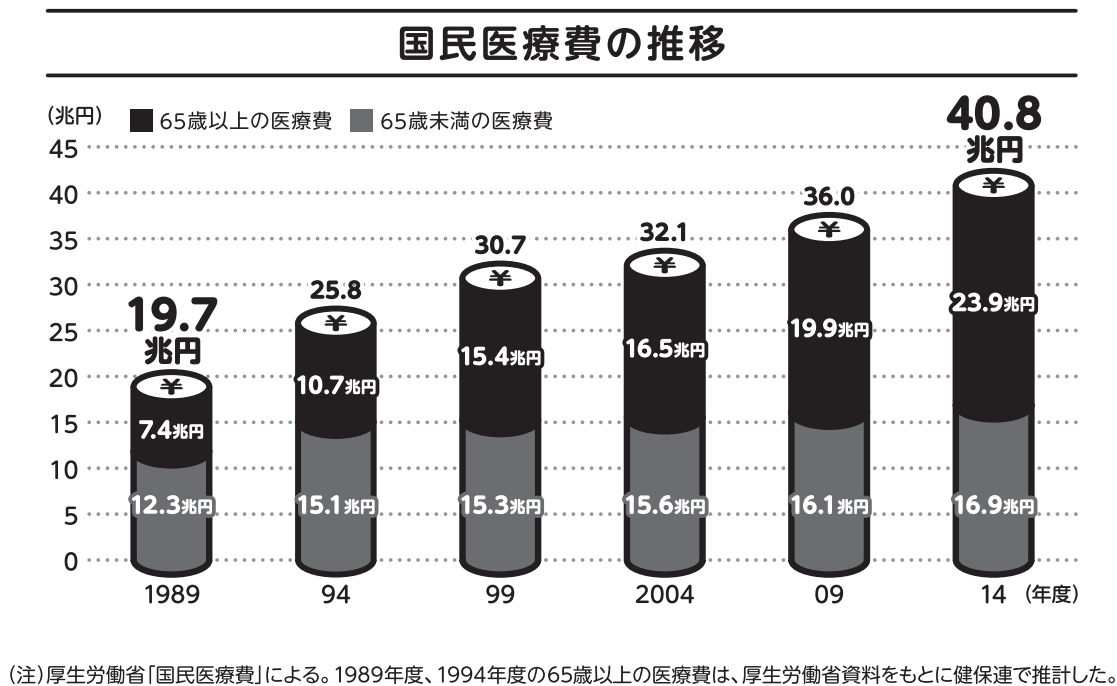


健康保険は、健康ではありません。

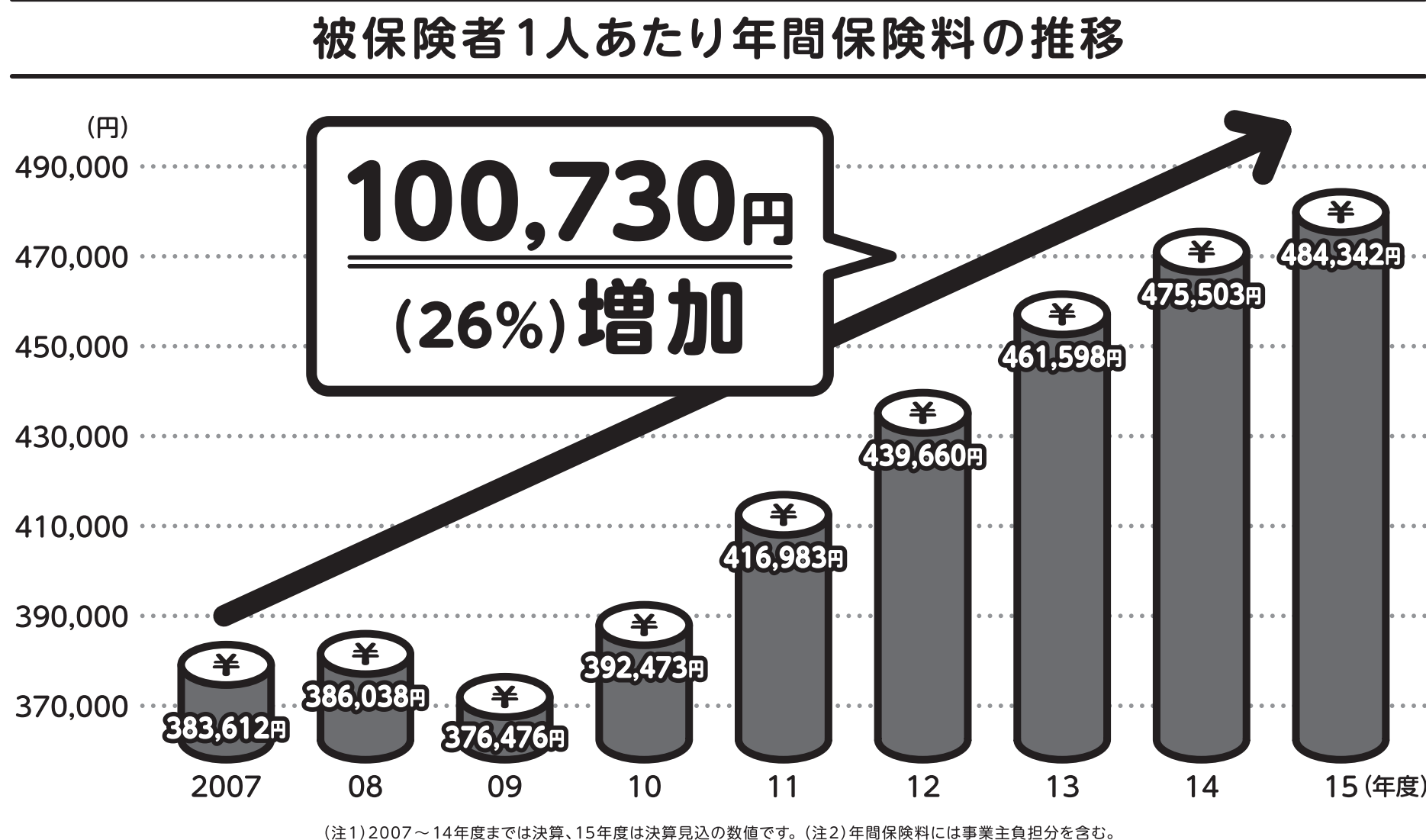
超高齢社会はすでにはじまっています。



高齢者医療費の激増により 国民医療費は25年で20兆円以上増加。



保険料負担は8年で10万円以上増加。現役世代の負担は限界を超えています。



今、早急な改革の実施が求められています。

健康保険証ひとつで、いつでも、だれもが、安心して医療を受けられる。

国民皆保険と呼ばれる健康保険制度は、わが国が世界に誇る制度です。しかし今、健康保険制度は大きな岐路に立たされています。

少子化と高齢化が進み、現役世代の人口が減少していきなで、

65歳以上にかかる高齢者医療費が国民医療費の約6割にまで膨らみ、これをどう支えるのかが大きな問題となっています。

現在はこの大きな負担を現役世代や企業に依存する形でなんとか持ちこたえています、負担はもはや限界といえます。

今後も増え続ける高齢者医療費を、現役世代の健康保険料の負担に過度に依存する現行の仕組みから大きく改める必要があるのです。

健保連は国に対し、下記の主張を強く訴えています。国民皆保険を次の世代へ引き継ぐためにも、納得感のある制度改革が急務です。

- ① 高齢者医療費の負担構造改革の早期実現
- ② 実効ある医療費適正化対策の確実な実施

誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度は、私たちの貴重な財産。この財産を守るため、医療保険制度を超高齢社会に耐え得る仕組みに改革すべきです。全国の健保組合と健保連は、一丸となって、『あしたの健保プロジェクト』を展開し、主張の実現をめざしています。

健康保険組合連合会

健保組合は、約3,000万人のサラリーマンとその家族の健康を守っています。
健康保険組合連合会(健保連:〒107-8558 東京都港区南青山1丁目24番4号)は、全国1,400余りの健保組合の連合組織です。

健康保険。みらいのために、今、変えよう。

あしたの健保プロジェクト

www.ashiken-p.jp